

冬の季節風

「西高東低の冬型」冬の典型的な気圧配置として、よく耳にするかと思います。本州を中心において、西側に高気圧、東側に低気圧となる気圧配置で、天気図では、日本付近に南北の等圧線が引かれ、縦縞にみえます。

西側の高気圧は、シベリヤやモンゴル方面に現れる高気圧で、冷たい地面に接して、空気が冷やされることでできます。そのため、冷たく乾燥した空気を持っています。

東側の低気圧は、アリューシャン列島を中心にオホーツク海からアラスカ沿岸まで、北太平洋北部を東西に広がる低気圧で、停滞する傾向があります。

地上の風は気圧の高い方から低い方へ吹くため、大陸の高気圧から、東の海上の低気圧に向かって風が吹き、本州付近では、北西の風となります。この北西の風によって、大陸から冷たく乾燥した空気が日本に流れ込んできますが、日本海と山の影響で性質が変わりながら進みます。はじめ「冷たく乾燥した」空気は、日本海を通るときに、海から水分の供給を受けて、「湿った」空気となります。この空気が、本州を背骨のようにのびる山脈にぶつかり、上昇して雲を発生させます。この時、雪や雨が降るため、山を越える頃には再び「乾燥した」空気となります。このようにして、日立市付近の季節風は「乾燥した」空気が流れ込んできます。

日立市における最小湿度は1968年1月14日の8%。また、最大風速、18.1m/sも冬に観測しています。日立の冬は乾燥し、風が強いため、火事や、風邪などに気をつけましょう。

今年の冬の気候は

気象庁の長期予報によりますと、関東地方は、やや寒気が流れやすく、ほぼ平年並みの気温となり、降水量もほぼ平年並みの予想です。

平年の値（日立市役所）

項目	12月	1月	2月
平均気温（℃）	7.3	4.6	4.6
降水量（mm）	43.3	49.6	56.3
日照時間（時間）	184.7	191.3	172.1
平均湿度（%）	59	55	57

平年値（1981～2010年の30年間の平均）

過去の気象の特徴は月ごとにホームページに掲載しています。

防災対策課と共同運用の「日立市の防災と天気」Facebook ページと Twitter もご利用ください。

※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<https://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。